

# 第1回 市民ワークショップ

# 回 覧

## 「将来どんな活動が若槻に必要か」 をテーマにグループ作業を行いました

9月8日(土)若槻コミュニティセンター体育館で「地区の公共施設を考える」市民ワークショップを開催しました。

長野市や若槻地区の公共施設の現状や課題などの説明を聞いた後、地元の方25人のメンバーと信州大学工学部羽藤研究室の学生のみなさんでグループワークを行いました。

各グループで「こんな若槻にしたい」「若槻にどんなサービスが必要か」等をふせんに書いて討議し、そのまとめを発表していただきました。

最初は遠慮がちだった方も、時間が進むにつれ、打ち解けて、討議も盛り上がりました。ご参加いただいた皆さま、ありがとうございました。



グループ作業の様子 熱心に話し合っていました

今後の予定		内容(予定)	会場
第2回	9月29日(土) 14:00~16:00	グループ討議テーマ 若槻地区の公共施設の課題や改善策を考えよう	若槻コミュニティセンター (体育館)
第3回	10月20日(土) 14:00~16:00	グループ討議テーマ 公共施設の複合化・多機能化について考えよう	
最終回	11月11日(日) 14:00~16:00	グループ討議テーマ 若槻地区の公共施設の将来像について考えよう グループ意見発表、まとめ	

◇ワークショップは公開で、見学自由です。事前申し込み不要です。ぜひ会場にお越しください。

◇長野市公式ホームページ「公共施設マネジメント推進課」に当日の資料などを掲載していますので、ご覧ください。



【お問い合わせ先】

公共施設マネジメント推進課

電話:224-7592

若槻支所

電話:296-3908

## 《ワークショップの目的》

公共施設マネジメントの考え方にご理解いただくとともに、公共施設見直しの計画策定前の段階から、市民の皆さまと市と一緒に考える地域の公共施設に関する試みです

人口減少時代の中、地域の賑わいや活力あるまちづくりにつながる施設の集約化、多世代交流を生み出す複合化・多機能化など、様々なアイデアを公共施設再配置計画の参考にしたいと考えています

## 各グループの発表の一部を紹介します

### 【将来、こんな若槻にしたい・こんな活動が必要】

- ◇空き家や遊休土地・遊休農地の活用
- ◇人との交流の場、趣味、勉強会などサークル活動を多くする
- ◇趣味を生かした活動
- ◇地域・世代を超えて助け合いができる地区にしたい
- ◇子育て中のお母さん達が情報交換できる集まり
- ◇高齢者の方と子ども達の触れ合い
- ◇防災訓練、子どもの安全パトロール、夜間のパトロールの実施
- ◇若槻支所の建て替え
- ◇ドックラン・ボールの使える公園の整備
- ◇公民館を一部リノベーションして、皆が集まる本気のカフェを
- ◇中高生の自習場所の確保



ほかにもたくさんの意見が出ました

### 参加者アンケートから

- ◆子供と老人施設を一体化した交流の場があっても良いと思う
- ◆災害に強い地域にしたいという意見が、今後必要になると思う
- ◆空家対策として農地も含めて有効活用できないか、本当に検討が必要と思う
- ◆若槻地区といっても人口増加地域と減少地域と色々な地域があり、それぞれが抱える課題が異なることを認識した
- ◆人が集まるような取組が必要と感じた
- ◆皆さんと楽しく話し合いが出来た
- ◆事前に主旨等説明が欲しかった。事前の検討する時間が必要と思った
- ◆色々な世代、立場の方の考えを知る機会を頂けてありがとうございました
- ◆今回ワークショップに参加させて頂いて貴重な体験をさせて頂きました。次回以降も自分の意見が言えるように取り組んでいきたい

### アドバイザーの羽藤広輔先生(信州大学工学部准教授)のコメントを紹介します

- 急に集まって地域の未来について意見交換することは難しい作業だが、非常に活発な意見交換がなされたと思う。
- 公共施設の縮小や統合、廃止は非常にネガティブな話題であるが、ワークショップで出された意見が次の施設を考えていく時の参考になっていくという意味では、非常に有意義な活動である。是非このような機会をポジティブにとらえて、積極的に意見を出して頂きたい。

